

# 予備費を活用した緊急的な 堤防補強等の対策を実施します

「本年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検結果（24年9月4日国土交通省発表）」において対策が必要とされた箇所に対して、予備費を活用した緊急的な堤防補強対策等を直轄77河川、補助89河川で実施します。

（事業費 約421億円（第1弾：約373億円、第2弾：約48億円））

## 矢部川の堤防決壊状況（H24.7.14）



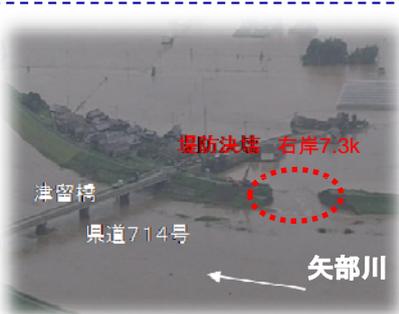
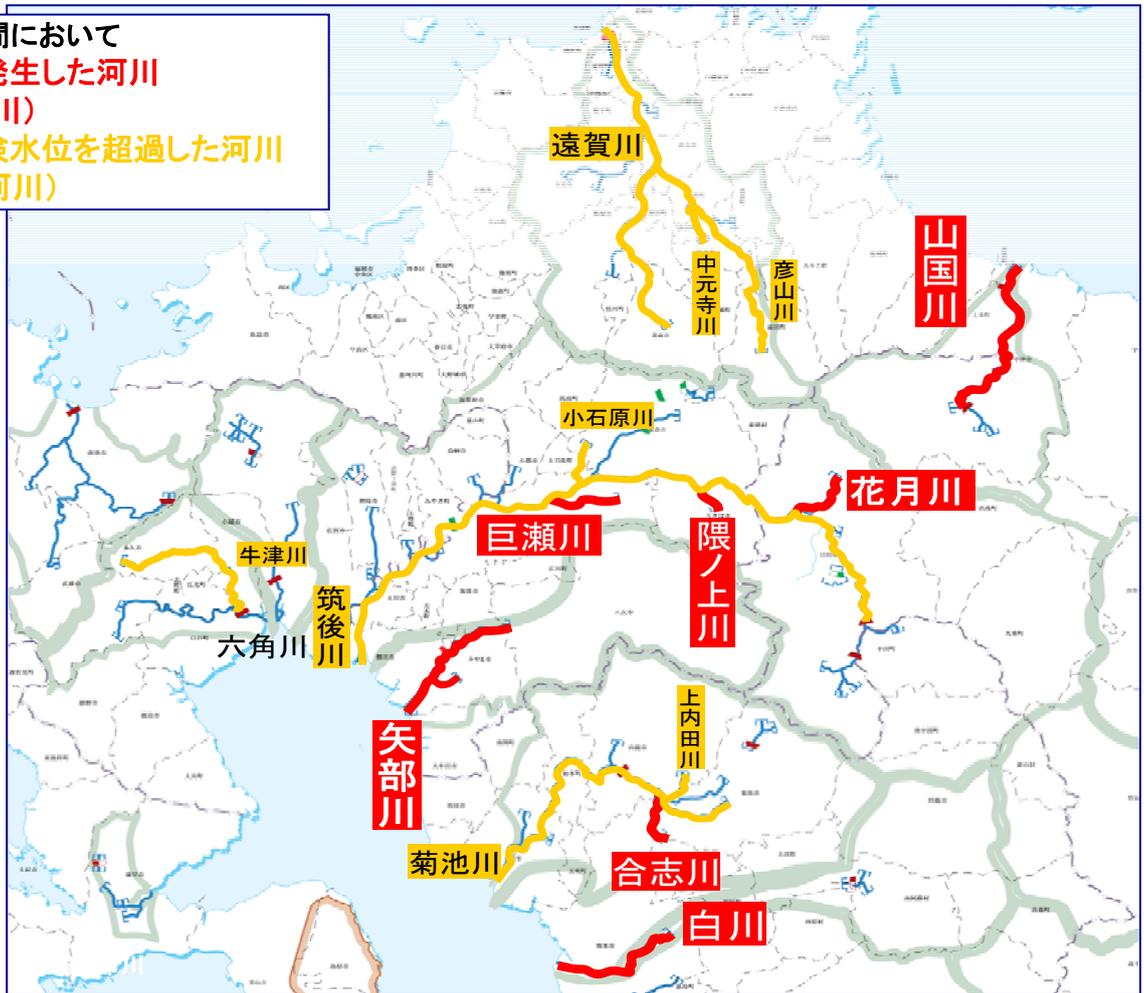
国土交通省

水管理・国土保全局

Water and Disaster Management Bureau

# 九州豪雨災害の概要 (平成24年7月)

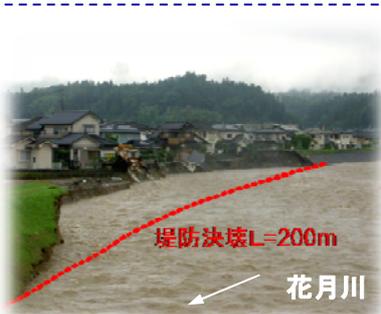
- 直轄管理区間において
- ・はん濫が発生した河川 (5水系7河川)
  - ・はん濫危険水位を超過した河川 (7水系15河川)



矢部川 (矢部川水系)

約14kmの区間で長時間にわたり計画高水位を超過し、堤防が決壊

遮水シート等による堤防への浸透対策が必要



花月川 (筑後川水系)

既往最高水位を更新する出水で、著しい侵食により堤防が決壊

護岸等による堤防の侵食対策が必要



白川 (白川水系)

熊本市街地の upstream で流下能力不足により越水氾濫し、大きな被害が発生

堤防嵩上げ、河道掘削等の流下能力対策が必要

# 緊急点検結果の概要

九州豪雨災害等を踏まえ、全国109の一級水系の直轄河川堤防延長 約13,400km に対して緊急点検を実施



要対策延長 約2,200km

※重複なし（各対策の延長は重複あり）

## ○堤防の浸透に対する安全性

【堤防への浸透】 → 要対策延長 約600km  
(過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所)

【パイピング】 → 要対策延長 約600km  
(旧河道跡等、パイピング※<sup>1</sup>により堤防が崩壊するおそれのある箇所)

※1 地盤内にパイプ状の水の通りみちができること  
※2 洪水の流れが堤防に直接あたる箇所

## ○水衝部等の侵食に対する安全性

【侵食等のおそれ】 → 要対策延長 約200km  
(河床が深掘れしている箇所や水衝部※<sup>2</sup>等河岸侵食・護岸欠損のおそれがある箇所)

## ○流下能力の不足箇所（ボトルネック部）

【流下能力不足】 → 要対策延長 約1,500km  
(堤防高が局所的に低い等、当面の目標に対し流下能力が不足している箇所)

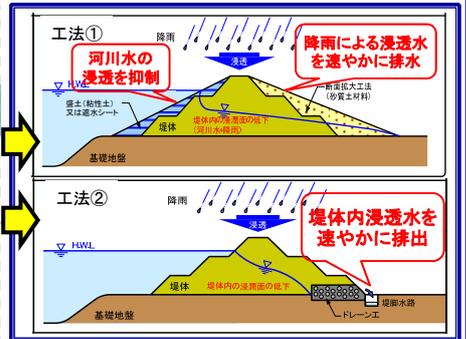
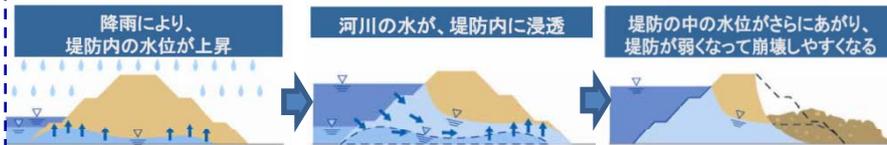


Ｈ24 予備費（第1弾、第2弾）を活用して緊急的な対策に着手

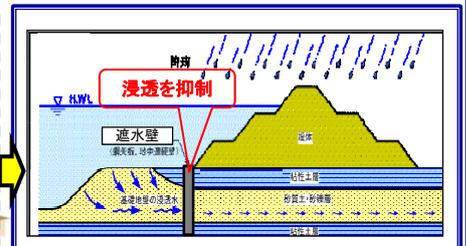
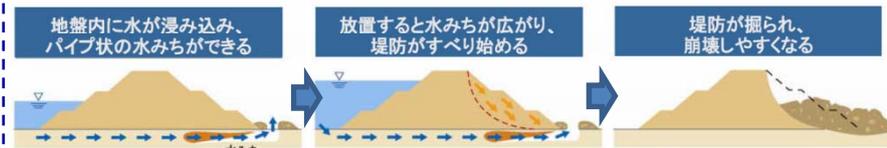
# 緊急対策の概要

## 堤防の決壊メカニズムと緊急対策

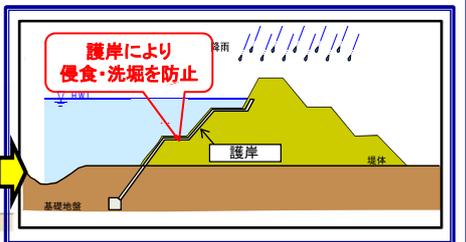
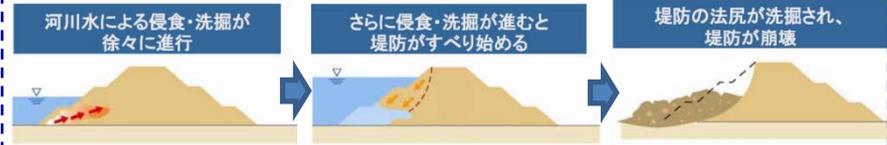
### 浸透破壊



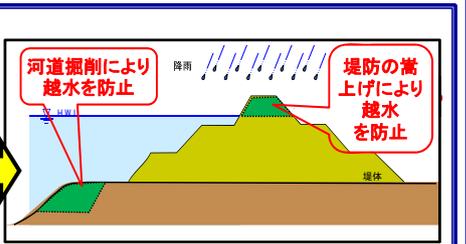
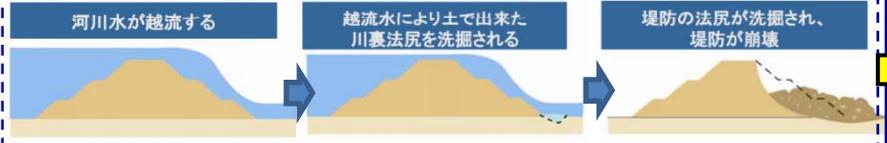
### パイピング破壊 (浸透破壊の一種)



### 侵食・洗堀破壊



### 流下能力



### 【お問い合わせ】

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館1階

TEL: 03-5253-8452